

## かぶ

農薬取締法上「かぶ」は、「非結球あぶらな科葉菜類」には含まれない。葉を食用とする場合も、必ず「かぶ」か「根菜類」、「野菜類」に適用のある農薬を使用すること。

—— 発病・加害時期  
 == 発病・加害最盛期

作型・病虫害名		月											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
夏	ま								●	●	■		
晩夏	～								●	●	■		
秋	ま								●	●	■		
根	こ												
キス	ジノ												
ネキ	リム												
コ	ナ												
カ	ブラ												
ヨ	トウ												
ア	ブラ												
アオムシ（モンシロチョウ）													

## 根こぶ病

### 留意事項

- 1 作条施用は、土壌と良く攪拌する。

### 防除方法

- 1 あぶらな科野菜の連作を避ける。
- 2 排水を良好にする。
- 3 石灰質資材を施用し、土壌酸度を矯正する。
- 4 発病根は、ほ場外へ持ち出し処分する。
- 5 発病の恐れのある場合には、下記の薬剤を施用する。

・ [ネビリュウ](#) 36

【全面土壌混和 30kg/10a は種前/1回】または

【作条土壌混和 20kg/10a は種前/1回】

・ [フロンサイド粉剤](#) 29 【全面土壌混和 30~40kg/10a は種又は定植前/1回】

・ [ランマンフロアブル](#) 21 【かん注 2000倍 は種時/1回】

- 6 下記の薬剤で土壌消毒を行う。（XⅢ土壌消毒 参照）

・ [バスアミド微粒剤](#)、[ガスタード微粒剤](#) 劇 一

【20~30kg/10a は種または定植21日前/1回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

## キスジノミハムシ

### 防除方法

1 は種時に下記の薬剤を施用する。

- ・ [フォース粒剤](#) 劇 [3 A](#) 【4kg/10a まき溝土壌混和 は種時/1回】
- ・ [スタークル粒剤](#)、[アルバリン粒剤](#) [4 A](#) 【6kg/10a まき溝土壌混和 は種時/1回】

2 成虫に対して下記の薬剤を散布する。

- ・ [アクセルフロアブル](#) [2 2 B](#) 【1000倍 3日/2回】
- ・ [ブロフレアSC](#) [3 0](#) 【2000~4000倍 前日/3回】

## ネキリムシ類

### 防除方法

1 発生を認めたら下記の薬剤を施用する。

- ・ [ダイアジノン粒剤5](#) [1 B](#) 【6kg/10a 土壌表面散布 出芽時/1回】

## コナガ

### 留意事項

1 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。

### 防除方法

1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。

- ・ [BT剤](#) [1 1 A](#) (IX野菜類の病害虫防除 3野菜類 参照)
- ・ [ディアナSC](#) [5](#) 【2500~5000倍 前日/2回】
- ・ [アフーム乳剤](#) [6](#) 【2000倍 3日/2回】
- ・ [コテツフロアブル](#) 劇 [1 3](#) 【2000倍 前日/2回】
- ・ [アクセルフロアブル](#) [2 2 B](#) 【1000倍 3日/2回】

## カブラハバチ

### 防除方法

1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。

- ・ [マラソン乳剤](#) [1 B](#) 【1000倍 14日/4回】
- ・ [モスピラン顆粒水溶剤](#) 劇 [4 A](#) 【4000倍 21日/1回】

## ヨトウムシ類

### 防除方法

1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。

- ・ [ディアナSC](#) [5](#) 【ハスモンヨトウ 2500~5000倍 前日/2回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

- ・ **BT剤** **1 1 A** (IX野菜類の病害虫防除 3野菜類 参照)
- ・ **プレオフロアブル** **UN** 【ハスモンヨトウ 1000倍 3日/2回】
- ・ **コテツフロアブル** **劇 1 3** 【ヨトウムシ 2000倍 前日/2回】

## アブラムシ類

### 防除方法

- 1 は種時に下記の薬剤を施用する。
  - ・ **アドマイヤー1粒剤** **4 A** 【4kg/10a まき溝土壌混和 は種時/1回】
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ **スタークル顆粒水溶剤**、**アルバリン顆粒水溶剤** **4 A** 【3000倍 3日/2回】
  - ・ **モスピラン顆粒水溶剤** **劇 4 A** 【2000倍 21日/1回】
  - ・ **マラソン乳剤** **1 B** 【2000~3000倍 14日/4回】

## アオムシ (モンシロチョウ)

### 防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ **ブロフレアSC** **3 0** 【2000~4000倍 前日/3回】
  - ・ **アディオン乳剤** **3 A** 【2000倍 前日/2回】
  - ・ **マラソン乳剤** **1 B** 【1000倍 14日/4回】
  - ・ **アクセルフロアブル** **2 2 B** 【1000倍 3日/2回】
  - ・ **ディアナSC** **5** 【2500~5000倍 前日/2回】
  - ・ **BT剤** **1 1 A** (IX野菜類の病害虫防除 3野菜類 参照)

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。